

特集1：メディケア(公的高齢者医療保険)

その5：メディケア・サプリメント

By: 河野圭子さん

ノースカロライナ州保険部認定 SHIP Counselor
アメリカ病院経営士会認定病院経営士

これまでのメディケアシリーズ

1) メディケアの基礎：2020年4月号

2) メディケア申請から加入：2020年7月号

3) メディケア再検討変更期間について：2020年8月号

4) メディケア・アドバンテージ、お薬パートD比較ツール：2020年9月号

＊ ＊ ＊

メディケア・サプリメントのポイント

メディケア・サプリメント（メディギャップ）に関する情報が氾濫しており、選び方や時期などわかりにくいかもしれません。今回は、メディケア・サプリメントについて整理してみます。

Standardized Medicare Supplement Plan Comparison Chart

The chart shows the benefits included in each of the standard Medicare supplement plans. Some plans may not be available. Only residents that qualify for Medicare before 2020 may purchase Plans C, G, and H. Subsidies for Plans C and H are available only to those who are 65 or older.

BENEFITS	PLANS AVAILABLE TO ALL APPLICANTS										MEDICARE FIRST ELIGIBLE (65 OR OLDER)	
	A	B	D	G	K	L	M	N	C	F	C	F
Medicare Part A coinsurance and hospital costs (up to 90 days after Medicare benefit is used up)	✓	✓	✓	✓	✓	✓	✓	✓	✓	✓	✓	✓
Medicare Part B coinsurance or copayment	✓	✓	✓	✓	100%	70%	✓	✓	✓	✓	✓	✓
Excess charges (over 15%)	✓	✓	✓	✓	100%	70%	✓	✓	✓	✓	✓	✓
Part A hospital care coinsurance or copayment	✓	✓	✓	✓	100%	70%	✓	✓	✓	✓	✓	✓
Skilled nursing facility care	✓	✓	✓	✓	100%	70%	✓	✓	✓	✓	✓	✓
Medicare Part A deductible	✓	✓	✓	✓	100%	70%	✓	✓	✓	✓	✓	✓
Medicare Part B deductible	✓	✓	✓	✓	100%	70%	✓	✓	✓	✓	✓	✓
Medicare Part B excess charges	✓	✓	✓	✓	100%	70%	✓	✓	✓	✓	✓	✓
Foreign travel emergency (up to plan limit)	✓	✓	✓	✓	100%	70%	✓	✓	✓	✓	✓	✓
Out of pocket limit in 2020					\$5,800*	\$5,100*						

メディケア・サプリメント（以下サプリメントと略）は、オリジナル・メディケアを選んだ方が、任意で加入できる保険であり、メディケアの自己負担をカバーする保険です。2020年1月からメディケア受給資格のある方は、8プラン

(A,B,D,G,K,L,M,N <注意：

プランA,B,DはメディケアのパートA,B,Dとは違います！>) から選べます。それ以前、既にプランCとFに加入されている方は、引き続き継続できますのでご安心ください。

保険料は、プランによりますが、例えば人気のGプランは、\$100～\$300前後です。保険料に差がありますが、プランGの給付内容は全く同じなので、将来の保険料の値上がりも考えて保険を選びたいものです。Gプランは、パートBの免責金(2020年は\$198)まで払うと、メディケアの自己負担金を全て支払ってくれます。

サプリメントは、任意加入なので、メディケアのパートBやパートDのようにペナルティーはありません。しかし、いつでも加入と脱退ができるかというと、要注意。次の2つの加入方法をご覧ください。各州でルールが違うのですが、大枠では下記のパターンです（MA州、MN州 W I 州は独自のルール有り）。

① Guaranteed issue rightsの時期：既往歴や健康状態により保険料増額されたり、加入拒否を受けないで入れる時期：多くの州は65歳のメディケアの申請時期やパートB受給から半年以内などを条件にしています。それを過ぎると、②になります。

② 上の①を過ぎて加入申請：保険会社は、既往歴や健康を調べて、この結果により保険料増額や加入拒否ができます。ですので、高齢や病気になってから加入申請する場合、あるいは、一度サプリメントに加入してやめてしまうと、入り直しが難しい理由はここにあります。

●メディケア・サプリメントのメリットと考慮すべき点なのですが、実際の相談から参考になりそうな例を書いてみます。

《その1》 65歳でメディケアに加入し、オリジナル・メディケアを選んだAさん。Aさんは、サプリメントに加入後、1年間病気にならなければ\$1,680(\$140×12)が掛け捨て、数年後に加入しようかなあと迷っておられました。⇒ このような考えもありますが、後の加入申請は②が適応されるので、要注意。

《その2》 80歳のBさんは、サプリメントの月額保険料が\$400に達して支払いが困難。今まで大病をしたことがないので、継続するかどうかの相談。⇒サプリメントをやめるなら年間保険料の\$4,800を貯金して、後の医療資金にすることや、広域のプロバイダーをカバーするメディケア・アドバンテージに切り替えるなどのオプション有り。

《その3》 80歳後半のCさんもサプリメントの保険料支払い困難。Cさんは、既に疾患を患いサプリメントがメディケアの自己負担をカバーしていたので、自己負担額とサプリメントの保険料の比較が必要。しかし、今サプリメントをやめると、②で再加入が非常に困難。

このような相談から、次のような考え方もできるのではないのでしょうか。最近、保険料を抑えた高額免責付のGプランが登場しました。例えば、65歳時にサプリメントに加入して5年目に入院を伴う病気をして\$3,000の自己負担が発生した場合：Gプランは、\$200前後（推定額）の自己負担後は全てカバーしますが、4年間の合計保険額は\$6,720（月額\$140）。保険料と治療費自己負担額の合計は\$6,920。

免責型Gは、免責額の\$2,400(推定額)まで自己負担が生じますが、4年間の合計保険額は\$2,400(月額\$50)。保険料と治療費自己負担額の合計は\$4,800となり、Gプランより総自己負担額が低くなります。しかし、それはあくまでの病気になるタイミングと治療額によります。

サプリメントは、自己負担をカバーする点ではメリットがあります。一方で、保険料の値上がり、掛け捨て的な要素もあり、将来を見据えて、継続できるかどうか考慮すべきポイントになります。

参考サイト：

✓Medicare .gov: メディケア情報の一押しサイト。

✓floridashine.org/Counseling-Sites.aspx：フロリダ州のメディケア相談員（SHINE Counselor）が探せます。

最後に： この記事をご覧になる頃は、まさにメディケアの再検討・変更期間(10月15日～12月7日)、詳細は8月号と9月号をご覧ください。今回でメディケアの連載は完結編となりました。この連載が皆様のお役に立てれば幸いです。メディケア関連の質問などお気軽にご連絡ください。happyycare65@gmail.com

なお、記事は一般情報の提供を目的としておりますので、アドバイスではないことをご了承下さい。